

令和 6 年 8 月 6 日

第 1 回 志免町総合計画審議会 議事要旨

1. 日時：令和 6 年 8 月 6 日（火）13：30～15：15
2. 場所：志免町役場 第 1・2 委員会室
3. 出席者（敬称略）：【委員】石橋委員、門谷委員、小出委員、小林委員、澤田委員（副会長）、白水委員、田邊委員、野上委員、野中委員、花田委員、福壽委員、牟田口委員、宗像委員（会長）、百田委員、吉岡委員
【町】町長
【事務局】経営企画課長、経営企画課長補佐、経営企画係長、政策推進係員、有限責任監査法人トーマツ（策定支援業者）

4. 要旨

1. 開会のことば

○事務局

・ただいまから、第 1 回志免町総合計画審議会を開催する。多様の中、参集いただき御礼申し上げます。

※配布資料の確認

2. 委嘱状交付

○事務局

・本日の第一回の開催にあたり町長より委嘱を行う。代表して石橋氏に委嘱状を交付する。

※町長より石橋氏に交付

○事務局

・そのほかの委員については、手元の委嘱状の確認をもって、委嘱状交付とさせていただきます。

3. 町長あいさつ

○町長

・このたびは、志免町総合計画審議会委員をお願いしたところ、快諾いただき御礼申し上げます。また、このたびは、多用の中、また暑い中に、今日の審議会に出席をいただき、あわせて御礼申し上げます。

・志免町では現在、令和 3 年度にスタートした志免町第 6 次総合計画を推進しており、「みんな未来をつくるまち～手と手を取り合い住みつづけたい しめ」の実現に向け、町民一

一人が主役となって、全ての方が笑顔でつながり、元気に輝き続け、10年後に住んでよかった、住み続けたいと思える志免町を作るために、様々な施策や事業に取り組んでいるところである。

・まず町民と様々な課題を共有しながら、ともにまちづくりを進めていくことができる計画づくりが必要である。今回の後期基本計画の策定に当たっては、委員には忌憚のない意見、提言をお願いし、挨拶とさせていただく。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○事務局

・別公務により町長は退席する。

4. 自己紹介

※自己紹介の実施

※事務局・事業者紹介

5. 会長・副会長の選任

○事務局

・会長副会長の選任となる。志免町総合計画審議会条例により正副会長は委員の互選によって決めていただくようになっている。正副会長の立候補または推薦はあるか。

※推薦なし

○事務局

・推薦がないので、事務局の腹案を示すがよいか。

※異議なし

○事務局

・それでは会長に行政学や地方自治論など、地域づくりを専門とし、他自治体でも総合計画審議会委員の経験のある九州産業大学教授の宗像委員、また副会長には、志免町在住で志免町にて事業を営みながら、社会教育委員、総合戦略策定検証委員会委員など、他分野で調整に尽力、活躍する澤田委員をお願いと考えているが、承認頂けるか。

○宗像委員、澤田委員

・はい、ありがとうございます。

○事務局

・それでは宗像委員、澤田委員、よろしくお願い申し上げます。会長と副会長からそれぞれ就任の挨拶を受けたいと思う。

○宗像会長

・このたび会長という大役を仰せつかり、非常に身の引き締まる思いである。志免町の発展のために、微力ながら全力で努めていきたいと思う。

○澤田副会長

・会が円滑に進むよう尽力する。改めてよろしくお願い申し上げます。

○事務局

それではこれ以降の議題の議事進行については、会長から進めていただく。

6. 議題

(1) 第6次志免町総合計画後期基本計画の策定について

(策定方針、策定体制、策定スケジュール等)

※ 資料1、資料2

(2) 町を取り巻く現状と前期基本計画の振返りについて

※ 資料3

○会長

・事務局より説明をお願いします。

※事務局より資料説明

○宗像会長

・策定方針の3ページで、町民の参画について示されており、町民意識調査や、中高生世代へのまちづくりヒアリング、ワークショップ等を行うという説明をいただいた。現時点において、何か計画されていることがあれば聞かせてもらいたい。

○事務局

・町民意識調査については、志免町では毎年行っており、今回も同時期に行おうと考えている。時期については、年明けの1月頃であり、郵送、無作為で2,000名を対象に、郵送でアンケート票を送り、今年度は、紙とQRコードを用いたWEB回答のハイブリッド方式で行おうと検討している。

・まちづくりのヒアリングについては、支援業者と企画内容を検討しており、実際対面方式でワークショップみたいに実施するか、または、小中学生には1人1台のタブレットがあるため、それにウェブのアンケートを送り回答を求めるのかなど、様々な方法を検討しているところである。

・町民ワークショップについては、既に日時が確定しており、10月5日の土曜日に、町内のカフェでワールドカフェ方式にて、和やかな雰囲気、自由活発に意見を頂くようなワークショップを企画している。こちらについては、9月号の広報において、ワークショップの参加者を募る予定である。

○百田委員

・ヒアリングの件だが、中高生の範囲は変えることができないのか。

○事務局

・先ほど申し上げた、小学校もタブレットあるので、本会議資料では中高生世代という形で記載しているが、その枠を超えてヒアリングすることも考えているところである。

○百田委員

・こども基本法がスタートして小学校の子供たちの意見も入れることができればと思う。

○事務局

・承知した。

○会長

・可能ならば小学生からも何かいろいろ意見やアイデアを聞くことができればと思う。

○小出委員

・振り返り検証について、130%以上は超過と判定しているが、130の根拠はあるのか。

○事務局

・明確に学術的なロジックが確立されているわけではなく、全国的な自治体の傾向により、130%以上を超過と判断しているものである。

○牟田口委員

・総合戦略の人口ビジョンにおける0から17歳の子供の人数の目標はどのように設定したのか。

○事務局

・令和 3 年度から開始した前期基本計画において、この目標値を設定する際に、基本目標 2 の施策 5 子育て支援の充実という取組において成果指標を設定しており、令和元年度の基準値 9,040 人を、前期基本計画の終期に当たる令和 7 年度には 9,130 人にしようという目標を立てた。その際、各年度 5 か年あるので、それを割り崩した形で段階的に目標達成していく計算で目標値を算出している。

○宗像会長

・前期計画の振り返り検証について、先の事務局説明では、B 評価が多い基本目標はあまりよろしくないと言われたが、C 評価や要検討と判定されている基本施策が多い基本目標のほうも気になる。この点はどのように考えればよいか。

○事務局

・必ずこういう見方をしなければいけないということはないので、要検討が多いものを注視するもの大いに結構だと考えている。そうやって、一定のあたりを付けて効率的にドリルダウンしていくことが分析の鉄則であるため、大まかな基本目標の判断をしながらも、気になる部分を基本施策ごとに確認していくことが必要である。

○澤田副会長

・振り返り検証の部分だが、現在前期計画期間の折り返し地点での振り返りとなるか、相対的に志免町としては計画通りなのかどうかを聞きたい。

○事務局

・全国的にこういった総合計画の評価なり振り返り検証を見る限りでは、現時点では悪くはない状況である。

・経過を見ながら、今後どうしていくのかというところを考えなくてはいけない。特に、アンケート調査はその時のトレンドで増減するので、社会の情勢もしっかり判断しながら、その時の実績値がよかったのか悪かったのかということ、計画期間を全て踏まえて、検証していきたいと考えている。

○福壽委員

・振り返りは振り返りとして、今ここが課題だと認識されているものっていうのは何かあるか。

○事務局

・現在の総合計画策定時に重点施策を設定し進めているが、計画策定時から町の課題として

取り組んでいるところである。また、基本目標2の目標値に達成していない部分を重点として取り組んでいる。

7. その他

(1) 次回開催予定日について

○事務局

・資料1でも示したとおり、12月あたりに第二回審議会を想定している。年末の忙しい時期となるが参加をお願い申し上げる。詳細日時については開催の一か月前に通知したいと考えている。

8. 閉会のことば

○事務局

・本日の審議会を終了する。スムーズな議事進行に協力いただき御礼申し上げる。また次回よろしく願います。

以上